

3 なたね

(1) 国際的ななたね需給の概要

○2008/09年度のなたね需給（予測）のポイント

なたねの供給面では、インド、中国等の作付けの増加や、カナダ、EUで比較的良好な天候を背景に単収が増加し、世界の生産量は増加が見込まれている。

需要面では、バイオディーゼル需要の拡大に伴い、EU、カナダ等で搾油用需要を中心に世界の消費量は増加が見込まれている。

期末在庫量については、生産量が消費量を上回ることから在庫が積み増しされ、期末在庫率も上昇し、1割まで回復すると見込まれている。

【生産量】

生産量は、カナダ、中国、EU等の主要生産国で増加することから、世界全体では前年度より8.4百万トン増加（17.4%）し、56.8百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.9百万トン上方修正されており、国別にはインド等が上方修正された。

【消費量】

消費量は、バイオディーゼル需要の増加などから油糧種子全般での需要増大により、EU、カナダ等で搾油用需要を中心とした増加が見込まれ、世界全体では前年度より5.4百万トン増加（11.0%）し、54.4百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、中国、インド、EUで上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より2.5百万トン増加（31.1%）し、10.7百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではウクライナ、カナダ、オーストラリアが生産量の回復により輸出量の増加が見込まれている。一方、輸入国では、生産国でもあるEUが域内のなたね需要を満たすため、輸入量の増加が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.5百万トン上方修正されており、国別にはカナダ、ウクライナ等の輸出品、中国、EU等の輸入品が上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから、カナダ等で積み増しされ、世界全体では前年度より2.1百万トン増加（61.0%）し、5.5百万トンとなり、期末在庫率も10.0%まで上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.3百万トン上方修正されており、国別にはインド等が上方修正され、カナダ等が下方修正された。

表－1 世界のなたね需給

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09 (単位:百万トン)		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	45.2	48.4	56.8	0.9	17.4
EU-27	16.1	18.4	19.1	▲ 0.0	3.7
中国	11.0	10.6	11.5	-	8.8
カナダ	9.0	9.5	12.6	-	32.2
インド	5.8	5.5	6.6	0.8	20.7
ウクライナ	0.6	1.1	2.9	0.1	163.6
オーストラリア	0.6	1.1	1.4	-	31.5
ロシア	0.5	0.6	0.7	-	10.8
消費量	46.4	49.0	54.4	0.9	11.0
うち搾油用	43.7	46.6	51.5	1.0	10.5
EU-27	16.6	19.1	20.7	0.2	8.1
中国	11.9	11.4	12.9	0.4	13.8
インド	6.4	5.9	6.2	0.3	5.6
カナダ	4.0	4.3	5.1	▲ 0.1	16.2
日本	2.2	2.3	2.4	-	4.7
パキスタン	1.0	0.9	1.2	-	40.0
メキシコ	1.1	1.2	1.3	0.0	5.3
貿易量	6.6	8.2	10.7	0.5	31.1
(輸出)					
カナダ	5.5	5.8	6.3	0.4	9.2
ウクライナ	0.5	0.9	2.5	0.2	170.4
オーストラリア	0.2	0.5	0.7	-	57.8
米国	0.2	0.4	0.2	▲ 0.1	▲ 47.1
EU-27	0.1	0.4	0.4	-	1.0
ロシア	0.1	0.1	0.1	-	118.8
アフガニスタン	0.0	0.1	0.1	-	34.0
(輸入)					
日本	2.2	2.3	2.4	-	4.1
EU-27	0.4	0.7	2.1	0.2	198.8
メキシコ	1.1	1.2	1.3	0.1	12.0
パキスタン	0.8	0.5	1.0	-	88.7
米国	0.6	0.9	0.9	0.1	3.0
中国	1.0	0.8	1.5	0.4	80.1
アラブ	0.3	0.5	0.7	-	39.5
期末在庫量	4.7	3.4	5.5	0.3	61.0
EU-27	1.4	1.0	1.1	▲ 0.0	5.0
カナダ	1.8	1.4	2.8	▲ 0.2	100.0
オーストラリア	0.3	0.3	0.4	0.1	28.4
日本	0.1	0.1	0.1	-	▲ 2.9
ロシア	0.1	0.1	0.1	-	2.1
米国	0.1	0.2	0.2	-	57.0
インド	0.5	0.1	0.5	0.5	400.0
期末在庫率	10.0%	6.9%	10.0%	0.4	3.1

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、 「PS&D」

(2) なたねの主要生産・輸出国等の需給状況

ア カナダ

【需給状況】

カナダの生産量は、EUのバイオディーゼル需要を背景としたなたね価格の高騰による作付け拡大や、単収の回復基調により、前年度より3.1百万トン増加（32.2%）し、12.6百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.8百万トン増加（16.2%）し、5.1百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の増加に伴い前年度より0.5百万トン増加（9.2%）し、6.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、1.4百万トン増加（100.0%）し、2.8百万トンとなり、期末在庫率も24.7%（10.8ポイント増）と増加する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の期末在庫量の0.2百万トンの上方修正により2008/09年度の期首在庫量が0.2百万トン上方修正された。中国等の需要の増加で輸出量が0.4百万トン上方修正され、消費量が0.1百万トン、輸入量が0.1百万トン下方修正された。この結果、期末在庫量が0.2百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

カナダのなたねは、収穫を終えている。生育期間中は良好な天候に恵まれ、マニトバ州、アルバータ州、サスカチュワン州で単収、品質ともに良好と報告されている。

イ オーストラリア

【需給状況】

オーストラリアの生産量は、小麦と同様に2年連続の干ばつの影響で低下していたが、主要な生産地であるウェスタンオーストラリア州を中心に、0.3百万トン増加（31.5%）し、1.4百万トンとなり平年並みの水準に回復する見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン増加（5.6%）し、0.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の増加に伴い前年度より0.2百万トン増加（57.8%）し、0.7百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.1百万トン増加（28.4%）し、0.4百万トンとなり期末在庫率も31.1%（0.4ポイント減）と減少する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の輸出量が0.1百万トンの下方修正により期末在庫量が0.1百万トン上方修正され、2008/09年度の期首在庫量、期末在庫量が0.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

オーストラリアのなたねの収穫はおおむね終了している。

我が国の輸入先国シェア 1位（2007年数量ベース92.9%）
世界の生産量シェア 3位（2008/09年度22.2%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度58.6%）

表-2 カナダのなたね需給（市場年度：8月～翌年7月）

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	9.0	9.5	12.6 (11.4)	-	32.2
消費量	4.0	4.3	5.1 (5.1)	▲ 0.1	16.2
うち搾油用	3.6	4.1	4.6 …	-	9.8
輸出量	5.5	5.8	6.3 (6.5)	0.4	9.2
輸入量	0.2	0.2	0.2 (0.1)	▲ 0.1	▲ 15.3
期末在庫量	1.8	1.4	2.8 (2.9)	▲ 0.2	100.0
期末在庫率	19.2%	13.8%	24.7% (25.0%)	▲ 2.5	10.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	5.24	6.23	6.49 (6.70)	-	4.2
単収(t/ha)	1.72	1.53	1.94 (1.70)	-	26.8

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
AAFC「Grains and Oilseeds (January 26, 2009)」

我が国の輸入先国シェア 2位（2007年数量ベース 7.0%）
世界の生産量シェア 6位（2008/09年度 2.5%）
輸出量シェア 3位（2008/09年度 6.9%）

表-3 オーストラリアのなたね需給（市場年度：12月～翌年11月）

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	0.6	1.1	1.4 (1.6)	-	31.5
消費量	0.5	0.5	0.6 (0.8)	-	5.6
うち搾油用	0.5	0.5	0.5 (0.8)	-	5.9
輸出量	0.2	0.5	0.7 (0.8)	-	57.8
輸入量	0.1	0.0	0.0 …	-	0.0
期末在庫量	0.3	0.3	0.4 …	0.1	28.4
期末在庫率	36.7%	31.5%	31.1% …	6.0	▲ 0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.05	1.06	1.20 (1.17)	-	13.2
単収(t/ha)	0.54	1.00	1.17 (1.39)	-	17.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
ABARE「Australian crop report (February 17 2009)」

ウ EU-27

【需給状況】

EUの生産量は、EU共通農業政策(CAP)における小麦の生産調整面積が適用されないことによる小麦の作付拡大により、小麦の転作作物であり作付が競合するなたねの収穫面積が減少するものの、温暖な冬の天候などにより単収が増加することから前年度より0.7百万トン増加(3.7%)し、19.1百万トンとなる見込みである。

消費量は、バイオディーゼル需要の増加などから搾油需要が増加し前年度より1.6百万トン増加(8.1%)し、20.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、EU域内需要の増加に伴い、前年度よりわずかに増加(1.0%)し、0.4百万トンとなり、輸入量は前年度より1.4百万トン増加(198.8%)し、2.1百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.1百万トン増加(5.0%)し、1.1百万トンとなるものの、期末在庫率は消費量の増加により5.1%(0.1ポイント減)と減少する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、収穫結果を反映して、生産量がわずかに下方修正され、消費量、輸入量が0.2百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量がわずかに下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

EUでは全般的には、比較的生育に適した天候に恵まれたことから、良好な作柄となった。なたねの収穫は8月頃に終了している。

エ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、価格の高騰などにより作付意欲が高まり、前年度より0.9百万トン増加(8.8%)し、11.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より1.5百万トン増加(13.8%)し、12.9百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度より0.7百万トン増加(80.1%)し、1.5百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、消費量、輸入量が0.4百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2008/09年度のなたねは、1月以降、北部地域と黄河/淮河流域で干ばつが深刻化し、一部の地域(安徽省北部、河南省および湖北省北部)では、なたねの収穫量が減ると予想されるが、主な産地の生育にはほとんど問題がない。

(世界の生産量シェア 1位 (2008/09年度33.6%)
輸出量シェア 5位 (2008/09年度 3.7%)

表-4 EU-27のなたね需給(市場年度:7月~翌年6月)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	16.1	18.4	19.1 (18.9)	▲ 0.0	3.7
消費量	16.6	19.1	20.7 (20.7)	0.2	8.1
うち搾油用	15.7	18.3	19.8 (19.8)	0.2	8.5
輸 出 量	0.1	0.4	0.4 (0.1)	-	1.0
輸 入 量	0.4	0.7	2.1 (2.9)	0.2	198.8
期末在庫量	1.4	1.0	1.1 (1.8)	▲ 0.0	5.0
期末在庫率	8.6%	5.2%	5.1% (8.7%)	▲ 0.1	▲ 0.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	5.41	6.58	6.25 (6.21)	-	▲ 5.0
単収(t/ha)	2.98	2.80	3.05 (3.04)	▲ 0.00	9.1

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
OIL WORLD 「OIL WORLD Monthly (January 30, 2009)」

(世界の生産量シェア 2位 (2008/09年度 20.2%)
輸入量シェア 2位 (2008/09年度 13.5%)

表-5 中国のなたね需給(市場年度:10月~翌年9月)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	11.0	10.6	11.5 (11.6)	-	8.8
消費量	11.9	11.4	12.9 ...	0.4	13.8
うち搾油用	11.5	10.9	12.3 (12.7)	0.4	13.3
輸 出 量	0.0	0.0	0.0 ...	-	0.0
輸 入 量	1.0	0.8	1.5 (2.0)	0.4	80.1
期末在庫量	0.0	0.0	0.0 ...	-	0.0
期末在庫率	0.0%	0.0%	0.0% ...	-	0.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	5.98	5.64	6.40 (6.82)	-	13.5
単収(t/ha)	1.83	1.87	1.80 (1.70)	-	▲ 3.7

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
OIL WORLD 「OIL WORLD Monthly (January 30, 2009)」

オ インド

【需給状況】

インドの生産量は、単収が低下するものの、十分な土壤水分量と国内価格上昇により、収穫面積が回復する見込みであることから、前年度より1.1百万トン増加（20.7%）し、6.6百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.3百万トンの増加となる見込みである。

輸出品、輸入量とも貿易の実績はほとんどない。

この結果、期末在庫量は、前年度より0.4百万トン増加（400.0%）し、0.5百万トンとなり、期末在庫率は8.1%（6.4ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、収穫面積が増加したことから生産量が0.8百万トン上方修正され、消費量が0.3百万トン上方修正され、輸入量が0.1百万トン下方修正された。この結果、期末在庫量が0.5百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

なたねの作付期においては十分な土壤水分があったことから、順調に作付けされた。現在は、収穫が行われているところである。

（世界の生産量シェア 4位（2008/09年度 11.6%））

表－6 インドのなたね需給（市場年度：10月～翌年9月）

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09			
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	5.8	5.5	6.6 (6.5)	0.8	20.7	
消費量	6.4	5.9	6.2 ...	0.3	5.6	
うち搾油用	5.7	5.2	5.5 (5.4)	0.3	5.9	
輸出品	0.0	0.0	0.0 ...	-	0.0	
輸入量	0.0	0.0	0.0 ...	▲ 0.1	▲ 20.0	
期末在庫量	0.5	0.1	0.5 ...	0.5	400.0	
期末在庫率	7.7%	1.7%	8.1% ...	7.2	6.4	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	6.64	5.70	7.00 (6.50)	0.80	22.8	
単収(t/ha)	0.87	0.96	0.94 (1.00)	-	▲ 2.1	

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (January 30, 2009)」